

国民の審判で「社会保障・税一体改革」をやめさせ、社会保障拡充への転換を！

# ほっかいどうの社会保障

2012年11月26日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

## 求められる、所得増、社会保障の改善

**江別** 「希望が見えない」 広がる貧困 40人がSOS 相談会



11月18日、江別市で、SOSネットなんでも相談会が行われ、40人の相談がありました。解雇・失業、月4万円、6万円の低年金の方、国保料の滞納、多重債務、生活保護など深刻な相談が相次ぎ、「生きていけない」現実の広がり、浮き彫りになりました。

中には、派遣の雇止めで、生活保護を申請しているが、仕事がなかなか決まらず「希望が見えない」と相談する22歳。「家族の病気と生活苦で発作的に電気のコードを首に巻いたが家族に見つかり思

いとどまった」という女性も。生活保護では、申請の相談の他、「離婚後、申請したがケースワーカーから血も涙もない対応され耐えられない」、子どもたちに扶養義務の問合文書がきたが、どう対応したらよいかとの相談も。

事務局のメンバーは「前回と違い、相談会を掲載したコミュニティ紙や、手配りした1万枚のチラシを見ての相談が多く、困っている人は増えている。国民を大切にする政治への転換が必要」と話しています。

**旭川** 低年金・失業「生活が苦しい」「医療費心配」ハローワークも参加

21日には、旭川でSOS生活相談会が行われました。失業や低年金など、年代を問わず「生活が大変」との相談や高い医療費の支払いなどの相談が相次ぎました。

- ・無職の息子と同居している低額の遺族年金で暮らす女性「医療費が月1万円で生活が苦しい」
- ・土木関係の夫の収入が不況で不安定な上に、体調崩し働けない時期もあり「生活大変」。契約満了の息子の失業保険も12月に切れ、夫婦で月1万5千円の医療費負担大きい。

この他にも、貯蓄を取り崩して生活している40代の一人暮らしの女性からは手術についての相談や生活保護利用者からは「施設入所を断られた」との相談も。手持金3万円の40代男性で生活保護を申請した方も。

前回に続き、ハローワークも参加し、失業者の相談も 糖尿病でインスリン治療している40代の男性は、「10月に失職し年金暮らしの実家へ戻った。求職中で、ハローワークにも登録したが上手く話せず仕事が見つからない」と相談。ハローワークの担当者と時間をかけて相談しました。

## 社会保障の拡充を！消費税増税はやめろ！ 各地で宣伝行動

来月16日は、いよいよ衆議院の投票日です。自公民は3党合意で社会保障解体をめざし、日本維新の会の橋下代表代行は、「社会保障が日本をつぶす」「国民のみなさんにもっと我慢を」と演説しています。とても大切な選挙です。

道内の社保協や消費税廃止連絡会などは、24日を前後して、「社会保障を拡充させる政治」「消費税増税を中止する政治を」と宣伝、署名行動を行いました。

(写真は22日札幌、26日、札幌西区の行動の様子)



いよいよ今週水曜日(28日)18時から かでの2.7 石川康宏教授を迎えて学習会



### 「日本の政治と社会はどうなっている」

資料代500円

国民の生活苦、貧弱な社会保障の要因を解明し希望ある社会の方向を示してくれます。日本維新の会の橋下氏の実績、狙いも解明します。選挙をとりくむ上で絶好の学習会です。尚、社会保障マスター養成講座の受講生は学習会后、石川教授と懇談できます。